

インフルエンザの季節が来ました

病院ごとに検査・治療方針が異なることがあります！

実はインフルエンザの検査と治療に対する考え方は医療機関によって異なります。午前を受診したクリニックではインフルエンザとは診断されず、午後を受診したクリニックではインフルエンザと診断されインフルエンザ薬を処方されたという話も多く聞かれます。そのようなことは避けたいですね。以下に当院の方針をお話しします。



まずはインフルエンザの症状を知っておこう

インフルエンザの典型的な症状は突然の発熱や関節痛、全身の筋肉痛です。火照った顔で来院され、風邪より症状が強いです。風邪と同様鼻水、咳、咽頭痛もありますが、初期は高熱、関節痛だけの方が多いです。

検査について ー検査結果だけに頼らず、総合的に判断しますー

インフルエンザ検査は発症後12時間経たないと陽性になりにくく、さらに3人に1人はインフルエンザに罹患していても陰性と判定されるという報告もあります。検査が陰性でもインフルエンザの可能性があるので。結局症状と流行状況、インフルエンザの方が近くにいたかによって判断することになります。当院では検査を行い、陽性ならインフルエンザと診断、陰性でも上記のような状況証拠がそろっていればインフルエンザと判断します。検査が陰性で症状も典型的でない、インフルエンザの方との接触歴もない場合はインフルエンザではないと判断します。

インフルエンザの薬は昨年までは吸入1回きりのイナビルという薬を使用していましたが、今年からは内服1回(2錠)きりのゾフルーザという薬を主に使用します。インフルエンザ薬の投与は早いほど効果的なので検査が陰性だとしても明らかにインフルエンザだと判断される場合には薬を処方したいと考えています。ただし罹患後48時間以上経過している場合は効果がありません。

注意!!!
インフルエンザは
発症後12時間
経たないと正しい
検査結果が出にくい!!
3人に1人が
陽性でも陰性と判定!!

治療について ー患者さんのご希望に合わせた治療を行いますー

とはいえ、そもそもインフルエンザは普通の風邪と同様自然に治るウイルス感染症です。高齢者や基礎疾患がある方など重症化しやすい方には積極的にインフルエンザ薬を使用しますが、通常の成人はその必要性はそれほど高くありません。解熱剤や麻黄湯(悪寒、発熱、関節痛などに効果的)だけで経過をみても構いません。健康な成人がインフルエンザ薬を使うメリットは解熱が半日程度早くなることと報告されています。そうはいつてもインフルエンザと判定されればインフルエンザの薬を飲んでおきたい方が多いと思います。上記のことを説明して、できるだけ患者さんの希望通りに治療していければと考えています。ちなみにインフルエンザの予防接種は、ご高齢の方(幼児も)は特に受けることをお勧めします。予防接種を受けていればインフルエンザにかかっても重症化しにくいとされています。

インフルエンザ予防接種を10月下旬から開始しています。

- ・65歳以上の方は市から補助があり大分市在住の方は1500円(税込)です。
- ・64歳以下の方は3500円(税込)です。

事前に
電話予約
をお願いいたします。

